

		チェック項目	はい (%)	どちらとも いいない (%)	いいえ (%)	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	1	子どもの指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか				<ul style="list-style-type: none"> ・園庭や雨天時でも身体を動かせる大ホールがあります。 ・大ホールは使用している児童の数を見て、適宜人数を調整しています。
	2	職員の配置数は適切であるか				<ul style="list-style-type: none"> ・規定基準を超える職員を配置しています。 ・外部、内部の研修を受け、専門性を高められるようにしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか				<ul style="list-style-type: none"> ・トイレはバリアフリー化しています。 ・玄関などは段差がありますので、可動式のスロープを置いており、必要時に出すようにしています。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか				<ul style="list-style-type: none"> ・日々、目標と振り返りを行っています。 ・月一回は一か月の取り組み様子などを職員全体で話し合い、個別支援計画に基づいた翌月の目標を立てています。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか				<ul style="list-style-type: none"> ・年一回、保護者向けに評価表を配布し、意向の把握と、改善につなげています。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか				<ul style="list-style-type: none"> ・年一回、保護者向け、事業所向けの評価を行い、その結果から自己評価を行い、ホームページに掲載しています。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか				<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修、外部研修を受けています。
適切な支援の提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか				<ul style="list-style-type: none"> ・利用計画に基づいて、保護者からさらに聞き取りを行い、専門的な見解を情報提供しながら、支援計画を作成しています。
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか				<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに合わせたアセスメントツールを使ったり、行動の分析をするために標準化されたアセスメントツールを使用しています。
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか				<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体でプログラムを組み立てています。
	11	活動プログラムが固定しないように工夫しているか				<ul style="list-style-type: none"> ・日々プログラムを作成しています。毎日ご利用になる方も、毎回違ったプログラムになります。
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか				<ul style="list-style-type: none"> ・利用時間に合わせて、プログラムを設定しています。 ・食事の支援など、休日や長期休暇にしか取り組めないことの漏れがないようにしています。

	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			毎回、個別活動と集団活動を行っております。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか			・支援にあたる職員は固定させておりませんので、毎回情報共有をしながら支援にあたっています。 ・特に集団活動をする時は、細かく打ち合わせを行っています。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか			・利用児の様子や支援の振り返りを行い、次の活動の支援体制や内容に反映させています。
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか			・毎回記録を取っています。職員の主観での記録にならないよう、客観的で具体的な内容を記載するように心掛けています。
	17	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか			・保護者、関係機関とモニタリングを行い、見直しを行っています。
	18	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか。			・ガイドラインとニーズを合わせながら支援を行っています。
	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			・児童発達支援管理責任者が参画しています。 ・子どもの状況を理解するために、療育に入ったり、日々直接支援をする職員から情報を受け取り、支援内容、方法を検討してその後の振り返りを行っています。
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか			・関係する小中学校とは情報共有と、連絡調整を行い、下校から利用開始までスムーズに行くようにしています。
関係機関や保護者との連携・関係機関や保護者の連携	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			・保育園との情報共有の必要性がありませんでしたので、行っていません。 ・来年度は新一年生を迎えますので、関係機関と連携した対応をとりたいと考えております。
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか			・該当する児童がいませんでした。
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			・児童発達支援センターの研修を受け、日々の支援につなげています。

	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				・小学生を含めた利用者のご家族や地域の方を招いてイベント行いました。近隣の中高生にボランティアを募り、高校生との交流ができました。
	25	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか				・上益城圏域自立支援協議会子ども部会の設立に向けての会議に参加しました。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか				・連絡帳や電話、メールなどを使って、ご家族と情報共有を行っています。
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対しての家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか				・上益城地域療育センターのペアレントトレーニングに保護者を紹介し、同行支援をしました。
	28	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか				・契約時に説明を行い、質問があればお答えしています。
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか				・保護者様のご希望に応じて、事業所内や家庭訪問で面談を行い、情報共有を行っています。
保護者への説明責任等	30	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				・茶話会を行い、保護者交流の場を設定しました。子どもたちの視点ということで、療育の取り組みなどを体験していただきました。
	31	子どもや保護者からの相談、苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか				・ご相談や苦情があったときは、迅速・丁寧を心がけ対応をさせていただいております。
	32	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか				・最低毎月1回のホームページ、ブログ更新をしています。
	33	個人情報に十分注意しているか				・個人情報が入った資料は鍵付きの書庫に保存しています。
	34	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか				・ご相談のお申し出がしやすいように、こちらから声掛けをさせていただくこともあります。
	35	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか				・ひな祭り会、焼き芋会など、地域の方を招待して、イベントを行いました。
	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか				・緊急時のマニュアルを作成しています。 ・年4回の避難訓練を実施しています。
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか				・年4回の避難訓練を実施しています。

非常時等の対応	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか				・本年度は2回職員研修を行いました。
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか				・事前にやむを得ず身体拘束を行うことが分かっていることに関しては、個別支援計画に記載しています。 ・ヒヤリハットが発生したときは、すぐに全職員に周知しています。
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか				・毎週月曜日は前の週に起きたヒヤリハットの再確認、対応の再検討を行っています。

令和5年3月実施